



2020 **3**

目次

- 1. 令和元年度第2回監事会を開催…………… 2
- 2. 令和元年度第2回理事会を開催…………… 2
- 3. 農林水産省と宮崎県が農業農村整備事業等に関する説明会を開催…………… 3
- 4. 大淀川左岸地区(野尻管内)土地改良区合併予備契約書調印式を実施…………… 3
- 5. 西臼杵地区土地改良協議会が令和元年度役職員研修会を開催…………… 4
- 6. 国営かんがい排水事業造成施設を維持管理する8土地改良区が大規模災害時における相互応援運営会議を開催…………… 4
- 7. 「高千穂郷・椎葉山地域のこれからの農林業を考えるワークショップ」を開催…………… 5
- 8. 令和元年度水土里ネット宮崎 資格取得者の紹介…………… 6



田植えの様子  
(経営体育成基盤整備事業 塩屋原地区:串間市)

## 令和元年度第2回監事会を開催

去る2月7日、宮崎県土地改良会館2階役員会議室にて令和元年度第2回監事会が開催され、引き続き監査が実施された。

監事会は、山元陸愛代表監事(吾田土地改良区理事長)、下沖常美監事(山新土地改良区理事長)、甲斐昭男監事(浜之瀬土地改良区理事長)出席のもと開催され、令和元年度一般会計収入支出補正予算(案)を含む3議案が審議され、原案どおり承認された。

引き続き実施された監査では、平成31年4月から令和元年11月までの予算及び事業の執行にかかる適合状況、会計伝票と会計証憑の整理、保存状況などが監査され、財政、業務、会計いずれも適正に運営、処理されていることが確認された。



監事会の様子

### 【提出議案】

- 第1号議案 令和元年度一般会計収入支出補正予算(案)の承認について
- 第2号議案 令和元年度第2回監査内容について
- 第3号議案 監査結果の処理方法について

## 令和元年度第2回理事会を開催

去る2月13日、本会は宮崎県土地改良会館2階役員会議室にて、令和元年度第2回理事会を開催した。

理事会は、丸目賢一会長はじめ理事・監事のほか、県より小野正寛農村計画課長、盛永美喜男農村整備課長など23名出席のもと開催された。

はじめに、丸目会長が挨拶した後、山元陸愛代表監事が、平成31年4月から令和元年11月までの中間監査について、関係書類等が適正に処理されていると監査報告した。その後、丸目会長を議長として議事に移り、第62回通常総会に上程する関係議案等について審議され、全議案とも原案どおり承認された。



理事会の様子

### 【提出議案】

- 第1号議案 定款の変更(案)について
- 第2号議案 職員給与規程の変更(案)について
- 第3号議案 契約事務取扱規程の変更(案)について
- 第4号議案 令和元年度一般会計収入支出補正予算(案)について
- 第5号議案 令和2年度経費の賦課基準及び賦課徴収の方法(案)について
- 第6号議案 令和2年度役員報酬(案)について
- 第7号議案 令和2年度事業計画並びに一般会計収入支出予算(案)について
- 第8号議案 令和2年度取引金融機関並びに一時借入金限度額、借入方法(案)について
- 第9号議案 財政調整積立金の運用(案)について
- 第10号議案 役員の選任(案)について
- 第11号議案 第62回通常総会の開催並びに同提出議案(案)について
- 第12号議案 土地改良功労者表彰の選定(案)について



## 農林水産省と宮崎県が農業農村整備事業等に関する説明会を開催

去る2月3日、農林水産省と宮崎県は、宮崎県土地改良会館4階研修室にて、市町村の農業農村整備事業関係者及び水土里ネット役職員など約130名出席のもと、農業農村整備事業等に関する説明会を開催した。説明会は、次年度の農業農村整備事業関係予算の概算決定後に毎年開催されており、予算の概要や新規・拡充事業等について説明が行われている。

はじめに、主催者を代表して小野正寛県農村計画課長が挨拶。「国が次期食料・農業・農村基本計画の見直しを進めるなか、本県においても第8次宮崎県農業・農村振興長期計画の策定を進めている。また、令和2年度予算についても必要な予算をしっかりと確保し、地域の課題を解決するべく施策を活用していきたい」と述べた。続いて、花田潤也農村振興局整備部設計課企画官が「令和2年度当初予算が、昨年度を上回ったことに対して、ご協力いただき感謝申し上げます。また、食料・農業・農村基本計画の見直しにより土地改良長期計画も令和2年度に見直す予定であり、現場の声を聞きながら計画にしっかりと反映したい」と挨拶した。

その後、説明に移り、花田企画官が「令和元年度補正予算及び令和2年度当初予算概算決定の概要」、「新規・拡充事業等」、「令和2年度の地財措置」についてそれぞれ説明した。



説明会の様子



県農村計画課 小野課長



農村振興局 花田企画官

## 大淀川左岸地区(野尻管内)土地改良区合併予備契約書調印式を実施

去る2月5日、大淀川左岸地区(野尻管内)土地改良区統合整備推進協議会(徳地豊会長:大淀川左岸土地改良区理事長)は大淀川左岸土地改良区2階会議室にて、関係者約30名出席のもと、大淀川左岸地区(野尻管内)土地改良区合併予備契約書調印式が行われた。

この合併は、大淀川左岸土地改良区が母体となり、小林市野尻管内の3土地改良区(漆野原、紙屋第一、紙屋第二)を統合することで、土地改良区運営の効率化と財政基盤の強化を図るとともに「新しい農業の展開と活力ある村づくり」の一翼を担う組織としての体制づくりを目的として進めてきたものである。

調印式は、徳地会長の主催者挨拶に続き、来賓紹介後、石井克直県中部農林振興局農村計画課管理担当主幹が本日に至るまでの経緯及び概要を説明した。

続いて、合併予備契約書へ調印後、来賓を代表して田上明彦宮崎市副市長、宮原義久小林市長、日高正裕県中部農林振興局長がそれぞれ挨拶した。

最後に、合併予備契約書に調印した4土地改良区を代表して有留千文漆野原土地改良区理事長が挨拶し、式は盛会裡に終了した。今後は、各土地改良区の議決を経て令和3年2月までの合併を目指す。



合併予備契約書へ調印する様子

左から、田上副市長、有留理事長、徳地理事長、高松理事長、富田理事長、宮原市長  
(宮崎市) (漆野原) (大淀川左岸) (紙屋第一) (紙屋第二) (小林市)

## 西臼杵地区土地改良協議会が令和元年度役職員研修会を開催

去る2月25日、西臼杵地区土地改良協議会(原田俊平会長:五ヶ瀬町長)は西臼杵支庁2階大会議室にて、会員及び関係者約70名出席のもと、令和元年度役職員研修会を開催した。

はじめに、主催者を代表して上田泰士西臼杵地区土地改良協議会副会長(西臼杵支庁農林担当次長)が挨拶した後、研修に移り、國廣室長が多面的機能支払交付金の概要及び実施状況や今後の課題等について説明した。

続いて、井上次長が自身も役員として携わる(株)池内米生産組合の事例を交えながら「水土里情報システムを有効活用して情報の見える化を実現したことで、作付けから収穫に至るまでの各種作業計画が容易となり、作業の効率化及び品質の向上に繋がった。今後は、5年・10年後の地域農業を見据えた取り組みを、集落で考えることが重要」などと話した。

最後に、山内敏雄西臼杵支庁農政水産課長が棚田地域において用水管理の作業負担軽減について情報提供を行い、研修会は盛会裡に終了した。

### 【研修内容】

#### 第1部「多面的機能支払交付金をめぐる情勢」

九州農政局 農村振興局農地整備課

多面的機能支払推進室 室長 國廣 博昭

#### 第2部「水田情報の見える化について」

宮崎県農業再生協議会 次長 井上新三郎



水土里情報システムを活用したデータの一例(田植え指示図)



研修会の様子



國廣室長



井上次長

## 国営かんがい排水事業造成施設を維持管理する8土地改良区が大規模災害時における相互応援運営会議を開催

去る2月28日、県内8つの土地改良区(綾川総合、大淀川右岸、大淀川左岸、都城盆地、西諸、一ツ瀬川、川南原、尾鈴連合)は、大規模災害時における相互応援第2回運営会議を宮崎県土地改良会館4階研修室にて、国、県、市町の関係機関のもと出席者約50名で開催した。

本協定は、8土地改良区において地震、風水害その他の大規模災害(人命及び土地改良財産等に重大な被害を及ぼす事態)が発生、又は発生するおそれがあるとき、円滑かつ迅速な相互協力が行われることにより、被害の軽減と農業経営の安定が図られることを目的とし、平成30年2月23日に締結された。

運営会議は、協定をより効果的に運営するために開催されており、本会議では令和元年度活動として2回の運営会議の開催内容と一ツ瀬川土地改良区でのブロック別訓練について実施報告があった。また、九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所から令和元年梅雨前線豪雨による災害対応について事例報告がなされた。今後も、運営会議の開催により、関係機関の情報共有化を図り、大規模災害時に備えていく事としている。



会議の様子



## 「高千穂郷・椎葉山地域のこれからの農林業を考えるワークショップ」を開催

去る12月23日、世界農業遺産認定地域の5町村(高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、諸塚村、椎葉村)は、竹下伸一准教授(宮崎大学農学部 森林緑地環境科学科)を講師に招き、高千穂町役場会議室にて各地域の意欲的かつ次世代を担う農林業従事者及び関係者約30名出席のもと、「高千穂郷・椎葉山地域のこれからの農林業を考えるワークショップ」を開催した。

このワークショップは、稲作・野菜栽培など農業の視点から、高千穂郷・椎葉山地域の「強み」について意見を出し合い、今後、地域全体を維持、活性化させるためのアイデア創出を目的としている。

はじめに、竹下准教授が「農林業あってこそその世界農業遺産」と題して講演を行った。その後、竹下准教授の進行でワークショップが始まり、参加者は5班に分かれ自己紹介や簡単なゲームを行った。開始と同時に参加者からは活発な意見が出され、予定された時間をオーバーするほどの盛り上がりを見せた。

ワークショップ終了後、参加者は「他の町村の様子が聞けて良かった」、「参加者同士の繋がりができた」などと思いを述べた。

今回出された意見は、「世界農業遺産保全・活用計画(アクションプラン)」の見直しや、農業農村整備事業(中山間地域総合整備事業等)事業化のための資料として本会が取りまとめ、今後の事業推進に活用する予定である。



竹下准教授による講義の様子



自己紹介の様子



ワークショップの様子



意見集約の様子

